

若者定着・活躍応援コース

研修趣旨・受講目的

本研修では、受講生同士の対話、ゲストとの対話を通じて、自社の魅力を再発見し、部署内や外部連携のスキルを獲得することを目指しています。

チームでの課題解決ワークショップ型プログラムを行い、楽しみながら技能の涵養を目指し、変化に対応してどんな場所でも活躍できる力を身に付けることができます。

実務に活かしていただくことや、日常での行動に落とし込むことはもちろん、研修を受ける仲間と、これからの組織内・社会での活躍のイメージを一緒に広げることができます。

研修講師



認定NPO法人
グローバル人材開発
センター

ゲスト



ワコール健康保険組合
常務理事

柏木 裕之氏

ゲスト



京都信用金庫専務理事・
価値創造本部長

丹波 寛志氏

求める受講生

自身のスキルや働き方に問題意識を持っている20-30代／異業種の同世代、同じ悩みをもっている仲間と一緒に学びを深めたい方／このままではいけない、けれど何からはじめていいかわからないという方の参加を期待します。

受講前に知っておくべき内容・学習文献等

【参考図書】

- ・「未来を変える目標 SDGsアイデアブック」
Think the Earth (著)、蟹江憲史(慶應義塾大学大学院 教授) (監修)、ロビン西(マンガ) (イラスト)
- ・「BEの肩書」兼松 佳宏(著)
- ・「パーパス「意義化」する経済とその先」岩崎博論(著)、佐々木康裕(著)、井上慎平(編集)
- ・「日本におけるサステナビリティの現状」
<https://fbrc.co.jp/case-study/sustainability-in-japan-2022>

※上記に記載の文献は、受講される皆様の学びの参考に記載したものであり、講義に持参いただく必要はございません。

日時	内容	場所
11月11日(金) 13:30-16:30	【自分を知る&協働に必要なコミュニケーションを学ぶ】 ①全体アナウンス&チェックイン ②Beの肩書きワークショップ ③NVC講座(共感コミュニケーション・非暴力コミュニケーション) ④振り返り	京都経済センター
11月18日(金) 13:30-16:30	【ゲストから学ぶ:一人ひとりが生き生きと働くことができるチームとは?】 ①全体アナウンス&チェックイン ②ゲストを招いての講演(ゲスト:丹波 寛志氏) ③講師とのワークショップ ④振り返りとアクション	京都経済センター
11月19日(土) 13:30-16:30	【ゲストから学ぶ:社内でのチーム作り・実践サステナビリティSDGsを学ぶ】 ①全体アナウンス&チェックイン ②ゲストを招いての講演(ゲスト:柏木 裕之氏) ③講師とのワークショップ ④振り返りとアクション	QUESTION
11月25日(金) 13:30-16:30	【学生とのワークショップ:外部リソースを活用する方法を学ぶ】 ①全体アナウンス&チェックイン ②学生とのワークショップ1 ③学生とのワークショップ2 ④振り返り	オンライン
チーム活動 日程は各チームで調整	チーム活動【資料作成&プレゼン練習】 ①プレゼン資料作成 ②プレゼン練習→グローバルセンターよりフィードバックを実施・担当講師が進捗状況に応じてアドバイス・解決策検討に必要な知識やスキルを担当講師からレクチャー	オンライン
1月20日(金) 13:30-16:30	【最終報告会】 ①全体アナウンス&チェックイン ②発表&フィードバック ③アクションに向けた目標設定ワーク ④振り返りと宣言	京都経済センター

このコースを通じて身に付けられる能力・知識・技術・技能

- ①自分の会社の魅力を再発見する力
- ②人や状況に併せて、柔軟に対応する力
- ③応援される力(リーダーシップ・フォロワーシップ)
- ④グローバルの視野で物事を考えられる力
- ⑤社内ですぐ小さくチャレンジする!実践する力
- ⑥異なる組織でプロジェクトを遂行する力の習得が見込まれます。

このコースで目指す姿・修了後のあり方

- ・社会課題の解決を考える短期PBLプログラムを通じて、自分の得意を生かしたプロジェクトへの関わり方を体験することで、社内での具体的実践のイメージや社会での活躍をイメージしてもらいます。
- ・プログラムを通じて実践のイメージを持つことで、社内での自分の居場所作りのきっかけや、自ら考え行動を起こすことができる人材へと成長するきっかけを作っていただくことを期待しています。